

## 「サステナビリティレポート 2022」公開

～持続可能な社会の実現に向けた活動報告～

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は5月12日、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する当社グループの活動をまとめた「サステナビリティレポート 2022」を[ホームページ](#)に公開しました。

本レポートは ESG 投資の専門家をはじめ幅広い読者に向けて、サステナビリティ活動を網羅的に報告しています。「中期経営計画サステナビリティ編」の目標達成に向けた具体的な取り組みや事業活動とサステナビリティ戦略との連動がわかりやすく理解できる工夫をしています。今年のレポートはデザインをリニューアルし、これまで以上に ESG(環境・社会・ガバナンス)の視点で情報整理をした構成です。

報告内容は ESG 情報開示の枠組みである GRI スタダード(2016)<sup>※1</sup> や SASB スタダード<sup>※2</sup> を参考に作成し、東証プライム市場上場会社に義務づけられた TCFD<sup>※3</sup> の提言に沿った気候変動関連の情報も開示しています。



サステナビリティレポート 2022(WEB ページ)

当社グループは 2022 年 2 月に長期ビジョン「Mission TREEING 2030」と、その達成に向けた基盤を作るための 3 年間として新中期経営計画「Mission TREEING2030 Phase1」を発表しました。中期経営計画では「事業と ESG の更なる一体化」を基本方針の一つとして掲げ、サステナビリティ戦略を組み入れた「中期経営計画サステナビリティ編 2024」を定めています。

長期ビジョンでは地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動などに対して価値を提供することで、地球が将来の人々や生き物たちにとって快適な住まいとして受け継がれていくことを目指します。長期ビジョンを達成するための重要課題を「地球環境への価値」、「人と社会への価値」、「市場経済への価値」に紐づけ、いずれの価値も損なうことなく、また、それぞれの価値を高めることにより、3 つの価値を同時に満たす事業活動を推進します。

### ■「サステナビリティ レポート 2022」概要

- ・対象期間:2021 年 1 月～2021 年 12 月
- ・対象組織:当社と連結子会社および一部の持分法適用会社
- ・公開方法:住友林業ホームページ(<https://sfc.jp/information/society/>)にて公開
- ・第三者保証機関:KPMG あずさサステナビリティ株式会社

### ■冊子版 について

- ・「サステナビリティ活動ハイライト」を、ダイジェスト版冊子を発行(6 月発行予定)
- ・WEB の詳細情報を紙媒体で必要とされる場合は、PDF 版「サステナビリティレポート 2022」をご利用ください(6 月公開予定)。
- ・長期的な企業価値向上へ向けた取り組みを報告するため、非財務面の情報を含む統合報告書を発行(6 月末発行予定)

※1 UNEP(国連環境計画)の公認団体である GRI(Global Reporting Initiative)が策定する企業・組織に対するサステナビリティレポートに関する国際基準

※2 米国サステナビリティ会計基準審議会(Sustainability Accounting Standards Board)が公表する ESG 情報開示のフレームワーク。

※3 気候関連財務情報開示タスクフォース

《本件に関するお問い合わせ先》  
住友林業株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部 平川  
TEL:03-3214-2270